

多品目化による露地野菜産地の産地構造改善

～ 経営指標を効果的に活用した普及活動～

管内は秋冬ハクサイを中心とした露地野菜経営が主流となっていますが、価格低迷と労働過重等による経営不安定が大きな課題となっていました。そこで、関係機関が一丸となって、パイプハウスや有利な新規品目の導入による露地野菜経営の「多品目化」を推進し、周年での所得安定や労働平準化など露地野菜の経営改善に取り組みました。

推進にあたり品目別・作型別の経営指標（収益性、再生産価格等）を作成し、推進の有効なツールとして活用しました。こうした技術と経営の両面から長期間にわたる活動を行った結果、パイプハウスや新品目導入、多品目化への取り組み農家が増加し、露地野菜経営の経営改善を推し進めることができました。

● 品目・作型別の「収益性指標・再生産価格一覧表」の作成と提供 ●

ハクサイ等に替わる新たな園芸品目導入の参考にするため、33品目52作型について、作型毎に収益性や労働時間などを明示した一覧表を作成しています。

H16の初版以来、改正第3版に至っており、多くの農業経営者に配付・提供しています。

さらにこれをベースに、多品目の組み合わせの提案書「高収益営農モデル」も作成し、併せて提供しています。



推進の有効なツール「経営指標・再生産価格一覧表」と「高収益営農モデル」



座談会やフォーラムで意識啓発

● 座談会や各種フォーラムなどあらゆる機会での意識啓発 ●

意識啓発用パワーポイントを作成し、「収益性指標・再生産価格一覧表」等による提案と併せて、あらゆる機会を活用し働きかけを行ってきました。

- ・土地改良事務所等と連携し、農家説明会等の場を活用した出前講座。
- ・市町と連携し毎年「認定農業者経営フォーラム」を開催し、経営指標の活用や多品目経営の事例発表等を通じた意識啓発。
- ・市町の認定農業者組織の各種研修会
- ・普及センター主催の各種研修会、講座など

● モデル集団の育成と地域への波及 ●

八千代町安静地区の2つの組織をモデル集団として位置づけ、多品目化による高収益営農の実践集団として重点的に支援を行いました。

ここでの実践事例が生きた経営モデルになるとともに、現地研究会や事例紹介を通じて地域への効果的な波及をめざしました。



2つのモデル集団とパイプハウス団地